

**プログラムの概要**

国境を越えた社会の諸問題を、分野横断的に理解し、その問題を解決するために実践的に行動することができる人材の育成を目指します。国境を越えて生起する種々の社会事象を分析するために、社会科学の基礎理論、さらに、社会的事象は文化的事象と密接な関係にあることから、人文諸学も履修対象とし、学際的・総合的なアプローチの方法を学べるようカリキュラムを編成しています。

**達成目標**

国際社会学科では以下4項目からなるディプロマ・ポリシーを設定しています。

知識・理解： 国境を越えた社会の諸問題を、分野横断的に理解し、関連する基本的な知識を身につけ、それを土台にしてさらに自ら選択した専門的テーマに関する、地域的または分野的に特化・深化した知識・認識を有する。

思考・判断： 異なる時代・地域の社会の諸問題を比較し、実証的かつ合理的に考察することができる。

技能・表現： 講義、講演の聴講、また専門研究書等の講読および読書において、その要点を正確に理解、把握し、全体的にまとめることができる。専門的な文献の読解や実地調査によって得られた知識や情報を主体的かつ批判的に分析・総合し、論理的な考察を加えてこれを文章化することができる。またその内容を口頭で発表し、かつ生産的な議論を行うことができる。上記の事柄に必要な外国語や情報科学に習熟する。

関心・意欲・態度：

自分たちとは異なる世界各地の社会問題に広く関心を持ちながら、自己の文化との相違を尊重して、社会の諸問題を解決するために、大学で培った知識や技能を用いて実践的に行動することができる。

**履修条件（アドミッション・ポリシー）**

〔求める学生像（アドミッション・ポリシー）〕

- ・世界大の社会問題と地球社会の現在および将来について強い関心を持っている人
- ・様々な人々の存在に目を向け、共に学びあひながら、共に生きていく社会について考えたいと思っている人
- ・多様な外国語や情報発信のスキルを学び、世界の人々とコミュニケーションをとりたいと思っている人
- ・問題探究心・学習意欲に優れ、様々な問題や事象について論理的に考え、解決策を追求することに熱意があり、適性を持っている人

これらを判断するために、以下のような基本方針で入学者の選抜を行っています。

〔入学者選抜の基本方針〕

- ・広く基本的な知識を持ち、外国語の運用能力と、論理的な作文能力を備えた人を受け入れる。
- ・多様な個性・能力も重視する。高等学校教育課程の総合的学力、国際的な問題を説得的に論ずることのできる能力、外国の学校での勉強経験から得られた国際的な高い問題意識、社会人経験から得られた深い問題意識、外国人として4年間勉学を続けようとする強い意志、などの特性を考慮して評価する。

**到達目標に達するためのカリキュラム方針（カリキュラム・ポリシー）**

共通教育科目を重視し、1・2年次に学部基礎科目・学科基礎科目を集中的に履修することによって、基礎的かつ総合的な学力を養成します。そのうえで、学生の興味・関心にしたがって専門分野を選択し、専門外国語科目・選択科目をはじめ、3年次以降の演習・実験・実習科目、さらに4年次の卒業研究を履修することで、専門的かつ実践的な学習を可能としています。このような発展的な学習段階を反映した国際社会学科のカリキュラム編成方針は、以下の通りです。

## 1. 学部基礎科目(1年次)：

世界各地の社会、文化現象を、国家や国際機構、市民社会そして人と人とのコミュニケーションという多層的な観点から考察するための、総合的な理解力、基礎学力そして情報処理能力を養成する。

## 2. 学科基礎科目(1,2年次)：

国境を越えた社会の諸問題を、国際法、国際政治、国際経済、国際社会の四分野から考察する学力を養成し、個別の地域や問題を学習する前提となる社会科学の基礎的な知識と方法論を習得する。

## 3. 専門外国語科目(2,3年次)：

学術的かつ実用的な英語学習に加えて、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語、タイ語、朝鮮語の7つの外国語を学習する機会を提供し、世界の各地域とその文化を現地の言語でより深く理解するための基礎学力を養成する。

## 4. 学科選択科目(2,3年次)：

アジア、中東、アフリカ、ロシア、ヨーロッパ、南北アメリカなどの地域や、政治、経済、社会、法律、行政、歴史などの個別分野の現象を、より深く学習しながら専門的な知識を身につけ、実証的かつ合理的な思考力を養成する。

## 5. 演習・実験・実習(3年次)／卒業研究(4年次)：

学生の興味・関心にしたがって専門分野の演習を3年次から選択し、同分野における学習の専門性を深めると同時に、主体的かつ批判的な分析力を養成する。資料や専門書の分析・読解、実地調査、そして論理的な文章執筆のための方法論を学び、専門的な議論を組み立てるための、論理的な思考力を養成する。調査し、分析した内容を体系的にまとめて文章化し、または口頭で発表して考察内容を伝えると同時に、他の人々と問題を共有するための表現力を養成する。

**修了認定の基準（ディプロマ・ポリシー）**

所定の単位を修め、卒業研究において学科の到達目標を達成したと評価された者に卒業を認定します。

国際学部（国際社会学科・国際文化学科） カリキュラム ツリー

第3, 4年次

分析力  
思考力  
表現力  
からなる  
学士力を備え  
た人材の育成

卒業研究  
関連科目  
  
演習・実験・  
実習科目

卒業研究準備演習・卒業研究	
【演習・実験・実習科目】 アジア比較地誌論演習, 環境と国際協力演習, 行政学演習, 行政法演習, 近現代中国論演習, 計算機ネットワーク概説実習, 国際学特殊講義Ⅱ演習, 国際関係論演習, 国際協力論実習, 国際経済論演習, 地球市民社会論演習, 国際法演習, 地域社会論Ⅰ実習, 地域社会論Ⅱ演習, 途上国経済発展論演習, 東南アジア論実習, 中東地域研究演習, 東アジア社会史演習, 民族誌学演習	【演習・実験・実習科目】 アメリカ文化論演習, イギリス文化論演習, 韓国文化論演習, 芸術文化論演習, 言語学演習, 国際英語コミュニケーション演習, 対人コミュニケーション論実習, 中国文化論演習, ドイツ文化論演習, 日欧比較文学論演習, 日本語論演習, 日本文化論演習, 日本語教育論演習, 日本語教育Ⅰ演習, 日本語教育Ⅰ実習, 日本語教育Ⅱ演習, 日本語教育方法論演習, 比較文化論演習, 表象文化論演習, フランス文化論演習, 翻訳文学論演習, 民族誌学演習, ヨーロッパ思想構造論演習, アメリカ文学演習, イギリス文学演習

第2年次

より  
専門的な  
知識と  
方法論の  
習得

両学科  
開講科目

【環境】 地球環境政策論, 環境と国際協力 【国際キャリア開発】 国際キャリア開発基礎, 国際キャリア開発特論, 国際キャリア実習Ⅰ, 国際キャリア実習Ⅱ, 国際実務英語Ⅰ, 国際実務英語Ⅱ	
【哲学・思想】 哲学概論, 西洋哲学史, 現代文化と哲学, 西洋現代思想, 日本思想史, 比較思想論, ヨーロッパ思想構造論, アジア近現代思想論	
【歴史】 日本史概説, 東洋史概説, 西洋史概説, 考古学概説 【地理・地誌・民族誌】 自然地理学, 都市地理学, 人口地理学, アジア比較地誌論, 地誌学概論A, 地誌学概論B, 民族誌学	
【情報・統計】 計算機ネットワーク概論, 人工知能概論, 統計学	
【特殊講義・特別講義】 国際学特殊講義Ⅰ, 国際学特殊講義Ⅱ, 国際学特殊講義Ⅲ, 国際学特殊講義Ⅳ, 外国語特別講義Ⅰ(ポルトガル語), 外国語特殊講義Ⅱ(ポルトガル語), グローバル化と外国人児童生徒教育	
【留学生対象科目】 現代日本語Ⅰ, 現代日本語Ⅱ, 日研生特別演習Ⅰ, 日研生特別演習Ⅱ, 日本映画論	

分野横断的  
科目群

【国際協力】 国際協力論Ⅰ, 国際協力論Ⅱ	【日本語教育】 日本語教育Ⅰ, 日本語教育Ⅱ, 日本語教育方法論
【地域研究】 地域研究論, 東北アジア論, 近現代中国論, 中東地域研究, 東南アジア論, アフリカ論, 現代ロシア論	【文化論】 日本文化論(歳時編), 日本文化論(文学編), 韓国文化論, 中国文化論, ドイツ文化論A, ドイツ文化論B, ドイツ学—文芸と社会, ヨーロッパの歴史と文化, イギリス文化論, アメリカ文化論, フランス文化論

選択科目

余暇政策論 現代福祉事情 社会福祉学概論 都市計画 地区計画 行政学 グローバル・ガバナンス概論 地方自治論 現代政治思想 日本の政治 日米関係論 国際時事問題 Japan's International Relations 国際政治論	国際機構論 民法Ⅰ 民法Ⅱ 憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 比較憲法論 国際人権法 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ 国際法	交易ネットワーク論 途上国経済発展論 日本経済論 アメリカの経済と社会 ヨーロッパ経済論 国際金融論 経済学概論 ミクロ経済学 マクロ経済学 経済政策論 財政学 国際経済論	東アジア社会論 東南アジア農村社会論 東アジア社会論 東アジア社会史 現代日本社会論 タイ都市社会論 地域社会論Ⅰ 地域社会論Ⅱ 地域分析基礎論 国際社会論	国際コミュニケーション論 対人コミュニケーション論 身体表現論 言語と音声 言語と認知科学 日本語論 日本語史 英語学特講Ⅰ 英語学特講Ⅱ 対照言語学 言語学	ジェンダー論 イギリス文学史 アメリカ文学史 翻訳文学論 比較児童文学論 日韓文化交流史 日欧比較文学論 比較宗教文化論 日独比較文化論 東西比較文化論 比較文化論	日本武道論 キリスト教文化論 日本思想史 比較思想論 ヨーロッパ思想構造論 アジア近現代思想論 視聴覚教育メディア論 表象文化論 現代芸術論 芸術の思想 西洋美学 哲学概論 西洋哲学史 現代文化と哲学 西洋現代思想 芸術文化論	自然地理学 都市地理学 人口地理学 アジア比較地誌論 地誌学概論 西洋史概説 西洋史概説 日本史概説 考古学概説 東洋史概説 民族誌学 文化人類学
---	--	---	---	---	--	--	--

第1年次

基礎的・  
総合的な  
学力の養成

学科基礎科目

国際政治論	国際法	国際経済論	国際社会論	言語学	比較文化論	芸術文化論	文化人類学
-------	-----	-------	-------	-----	-------	-------	-------

学部基礎科目

学部基礎科目: 国際関係論, 地球市民社会論, 異文化間コミュニケーション 専門外国語科目: 国際英語コミュニケーション, 学術英語講読, 英語, ドイツ語, フランス語, 中国語, ロシア語, タイ語, 朝鮮語, スペイン語* 情報科目: 情報処理, データベース入門							
---	--	--	--	--	--	--	--

\*語学関連の授業科目については、開講科目が多数あるため科目名ではなく開講対象となっている言語のみを記している。

国際社会学科	国際文化学科
--------	--------